

エリシマム シトローナ™・シリーズ

甘い香りの秋咲エリシマム、シトローナ™・シリーズ

手入れも容易で、パンジーとほぼ同じ作型が可能

- シトローナ™・シリーズは低温要求不要。パンジーとほぼ同じ作型で、秋市場への出荷が可能な品種
- 10.5cm ないし少し大きめのポット出荷の場合は、11 から 12 週で自然で強固な分枝に恵まれた製品を出荷することが可能です
- シトローナ™・シリーズは、年間を通しての多様な出荷機会を得ることができる品種です

本品種の学名: *Erysimum allionii*
種子粒数: 500 粒/グラム

プラグ生産ステージ

プラグトレイのサイズ

400 穴前後のトレイ(392 穴あるいは 406 穴など)が最も作りやすい。約 4 週でプラグは終了

培地

水はけがよく衛生的で、ピート主体の培地を用いる。土壌 pH は 5.8 から 6.2

播種

播種時には粗めのバーミキュライト等で軽く、ないし普通に覆土する。シトローナ™・シリーズの地際分枝はとて関連なので、従来のエリシマムのように多粒播きは不要で、一粒播種が可能

播種から発芽:	2 から 4 日
ステージ 2 の期間:	約 7 日
ステージ 3 の期間:	約 10 日
ステージ 4 の期間:	約 7 日

温度

発芽:	20 から 22°C
ステージ 2:	昼間 18 から 21°C、夜間 15°C
ステージ 3:	昼間 18°C、夜間 15°C
ステージ 4:	昼間 15°C、夜間 13°C

光条件(照度)

発芽時には光は不要な植物。プラグ生産の段階では最大で 30,000 ルクス(3,000 f.c.)のレベルまで可能

湿度

発芽ステージでは、相対湿度を 95 から 97%に維持

肥料

施肥はステージ 3 から開始。(完全バランスの)汎用タイプの肥料を 50ppm(N)で週 2 回与える。1 週間には濃度を 100ppm(N)に上げ、その方法でプラグの終了時期まで続ける。ステージを通して EC 値 0.5 から 0.75mmhos/cm、土壌 pH を 5.8 から 6.2 に維持する。ステージ 3 と 4 においては、EC 値を 1.0mmhos/cm(pH は同レベル)まで幅を持たせることが可能

矮化処理剤(PGR)

プラグステージでの生長制御のため、矮化剤を適宜、使用する。播種後 3 週齢(ステージ 3 ないし 4)でボンザイ 10ppm を葉面散布すると、株がコンパクトに、同時にまとまりやすくなる。プラグ生産のステージでは、矮化剤による処理は 1 回で十分と考えられる

ポット上げから出荷まで

コンテナサイズ

10.5cm ないしそれ以上のポット、サイズの大きなカットパックなどを推奨

用土

水はけがよく衛生的で、ピート主体の培地を用いる。土壌 pH は 5.8 から 6.2。用いる用土の初期養分は中庸

温度

エリシマムは温度の低い環境でよく育ち、パンジーやビオラとよく似た条件を好む植物。そのためパンジーと同じような管理条件で生産が可能なアイテムです。エリシマムは、苗の移植後、根が生育し活着するまでだいたい 2 週間ほど、昼間温度 18 から 21°C、夜間温度 13 から 16°Cの条件の施設で管理する。その後は、露地や無蓋のハウスで開花まで置くことも可能な植物です。この時の、理想的な温度環境は、昼間温度 18 から 29°C、夜間温度 5 から 13°C

光条件(照度)

生産中、電照などによる補光は不要

かん水と肥料

水分を適切に維持しつつも、過湿にならないよう注意する。肥料は、(完全バランスの)汎用タイプの肥料を 200 から 300ppm(N)で週 1 回、与える。管理中は pH が 5.8 から 6.2 を、EC 値 1.5 から 2.5 mmhos/cm (SME)を維持

矮化处理剤(PGR)

矮化剤はポット上げ後に適宜用いるようにする。移植後、ボンザイ 20ppm で 1,2回葉面に散布。初回散布は移植後 10 から 14 日くらい、また必要であれば(とくに秋出荷の場合は必要となることが多い)2 回目は 2 週間くらい後が散布の目安。または B ナインの 2,500ppm とサイコセルの 1,000ppm によるタンクミックスでも効果が得られる。タンクミックスの散布の時期や頻度は上記のボンザイと同じ

栽培のスケジュール

播種からポット上げまで:

約 4 週(400 穴前後のトレイを使用)

ポット上げから出荷適期まで:

7 から 9 週間(大きめのパックの場合)

播種から出荷適期までの概算期間:

11 から 13 週(季節によって若干の差が生じる)

留意点: 元々の性質として、オレンジはイエローよりもいくぶん早く開花する

花壇定植時の草丈

46 から 61cm

花壇定植時の株張

30 から 46cm

定植後の光条件

日あたりのよい場所(直射日光可)

花壇定植時の株間間隔

20cm

予想される一般的な病気等

病気: 造園への定植後はスクレロチニア *Sclerotinia* などの菌核病による被害を防ぐためにも、定植前に土壌管理を徹底し十分な株間をとるようにしましょう

注意点: EC 値(電気伝導度)は、ピート主体の北米の用土を算出の基準としているので、土を用いた配合では適合し得ない場合があります。

PanAmerican SeedTM

PanAmSeed.com

PanAmerican Seed Co.
622 Town Road
West Chicago, Illinois USA 60185-2698
630 231-1400
Fax: 630 231-3609

PanAmerican Seed Europe BV
Lavendelweg 10
NL-1435 EW Rijssenhou, Holland
+31 (0)297-383038
Fax: +31 (0)297-383036

TMおよび[®]は、Ball Horticultural Company のアメリカ合衆国、またその他国における登録商標です。

©2004 Ball Horticultural Company Japanese translation version
Originally printed in USA PAS04153